付属資料１　諸元表 【変更版】

※今回、着色した諸室の想定面積、規模については施設要求水準が遵守でき、医療機器、什器・備品を設置した上で、医療行為及び病院運営が支障なく合理的に行える範囲であれば、既定の面積から減少して提案することを可能とします。但し、延べ面積については、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保して下さい。

※取り消し線の諸室は今回計画が不要な諸室としました。

※その他変更箇所は赤文字で表示しています。

必要諸室			全般					建築等				電気設備															機械設備																					備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
			面積															LAN		コンセント				照明器具									医療ガス						衛生器具										
部門名	諸室名		室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準（主に諸室位置関係・出入口・動線に関すること）	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	洗器（グース ネック水栓等）	スタッフ用手	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓		
1.外来部門						①患者呼び出しはモニター（診察室毎に1台）で行う。総合受付前、ラウンジスペースに大画面モニターを設置する ②診察室の出入り口はストレッチャー対応とし、扉内にカーテンを設置して視線に配慮する ③診察室は遮音性に配慮、隣接する室の話し声が聞こえないようにする ④診察室には医師以外に入力補助者の作業スペースを設ける ⑤ブロック受付、中央受付（総合受付）各外来診察室・処置室の災害時用の医ガス・非常用電源を確保する ⑥採血室と採尿室は隣接配置とし、内科系診療科が配置される同フロアに設置する。採血採尿室が検体検査室と上下階で分かれる場合は、検体検査室と小荷物昇降機で結ぶ ⑦外来中央処置室と救急部門とは近接配置とする ⑧1階が手狭な場合、1階には外科、内科、整形外科、小児科を中心に配置し、その他外来診療科は2階に集約配置する ⑨小児科、皮膚科、泌尿器科は、他の診療科診察室へ、音や臭いが影響しないよう配慮が必要																																																
外来診察エリア	外科・皮膚科・脳神経外科	診察室	3	12	36		①可能な限りバックヤードで他の診察室等と繋がっていること ②ストレッチャー、車いすでも利用可能とすること ③医師1名・看護師1名・MA１名・患者１名・付添１名が利用できること。					○		○					○	○	○	○			○	○			○	○	○	○			○	○					自動・混											電動診察台
		処置室	1	12	12		①可能な限りバックヤードで他の診察室等と繋がっていること ②ストレッチャー、車いすでも利用可能とすること			レバー・混									○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○			○	○					自動・混											
	内科	診察室	6	12	72		①可能な限りバックヤードで他の診察室等と繋がっていること ②ストレッチャー、車いすでも利用可能とすること ③医師1名・看護師1名・MA１名・患者１名・付添１名が利用できること。					○		○					○	○	○	○			○	○			○	○	○	○			○	○					自動・混											電動診察台
		処置室	1	12	12		①可能な限りバックヤードで他の診察室等と繋がっていること ②ストレッチャー、車いすでも利用可能とすること			レバー・混									○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○			○	○					自動・混											
	整形外科	診察室	3	15	45		①可能な限りバックヤードで他の診察室等と繋がっていること ②ストレッチャー、車いすでも利用可能とすること ③医師1名・看護師1名・MA１名・患者１名・付添１名が利用できること。					○		○					○	○	○	○			○	○			○	○	○	○			○	○					自動・混											電動診察台
		処置室	2	12	24		①可能な限りバックヤードで他の診察室等と繋がっていること ②ストレッチャー、車いすでも利用可能とすること			レバー・混									○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○			○	○					自動・混											
		ギプス室	1	15	15		①可能な限りバックヤードで他の診察室等と繋がっていること ②ストレッチャー、車いすでも利用可能とすること			レバー・混									○	○	○	○			○	○			○	○	○	○			○	○					自動・混										プラスタートラップ、処置灯用架台・アンカー コルセット固定用天井補強	処置灯（天井吊り）
	泌尿器科	診察室	1	12	12		①可能な限りバックヤードで他の診察室等と繋がっていること ②ストレッチャー、車いすでも利用可能とすること ③処置時の換気に配慮 ④医師1名・看護師1名・MA１名・患者１名・付添１名が利用できること。					○		○					○	○	○	○			○	○			○	○	○	○			○	○					自動・混											電動診察台
		処置室	1	12	12		①可能な限りバックヤードで他の診察室等と繋がっていること ②ストレッチャー、車いすでも利用可能とすること			レバー・混									○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○			○	○					自動・混											
		検査室	1	12	12		①可能な限りバックヤードで他の診察室等と繋がっていること ②ストレッチャー、車いすでも利用可能とすること			レバー・混									○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○			○	○					自動・混											
		TV検査室	1	36	36		泌尿器外来が放射線部門と隣接でない場合、単独で１室設ける										○		○		○	○		○	○	○	○	○								○	○													装置付随設備対応、表示灯、架台・アンカー	X線TV撮影装置
		検査用トイレ	適宜	適宜	適宜		泌尿器外来がある同フロアに採尿用トイレを一般トイレと兼用で確保する。直接、検体処理スペースもしくは検査室に提出できるようにパスボックスが設置されていること。								○						○	○			○	○				○	○	○																			
	小児科	診察室	2	12	24		①可能な限りバックヤードで他の診察室等と繋がっていること ②ストレッチャー、車いすでも利用可能とすること ③うち1室は陰圧対応とすること。 ④医師1名・看護師1名・MA１名・患者１名・付添１名が利用できること。					○		○					○	○	○	○			○	○			○	○	○	○			○	○					自動・混											
		処置室	1	12	12		①可能な限りバックヤードで他の診察室等と繋がっていること ②ストレッチャー、車いすでも利用可能とすること ③小児科診察室に近接していること			レバー・混									○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○			○	○					自動・混											
		感染待合室	1	6	6		①診察室のうち1室の前に設ける ②1家族分が待てるスペースを確保する ③陰圧対応とすること。								○					○	○	○	○			○	○			○	○	○	○			○	○					自動・混											

付属資料１　諸元表 【変更版】

※今回、着色した諸室の想定面積、規模については施設要求水準が遵守でき、医療機器、什器・備品を設置した上で、医療行為及び病院運営が支障なく合理的に行える範囲であれば、既定の面積から減少して提案することを可能とします。但し、延べ面積については、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保して下さい。

※取り消し線の諸室は今回計画が不要な諸室としました。

※その他変更箇所は赤文字で表示しています。

必要諸室			全般					建築等				電気設備													機械設備																							備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
			面積															LAN		コンセント				照明器具								医療ガス							衛生器具										
部門名	諸室名		室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準（主に諸室位置関係・出入口・動線に関すること）	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	洗髪用手洗器（グースネック水栓等）	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓		
外来診察エリア	婦人科	診察室	1	12	12		①可能な限りバックヤードで他の診察室等と繋がっていること ②ストレッチャー、車いすでも利用可能とすること ③医師1名・看護師1名・MA１名・患者１名・付添１名が利用できること。					○		○					○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○					○	○						自動・混										
		内診室	1	15	15		①可能な限りバックヤードで他の診察室等と繋がっていること ②ストレッチャー、車いすでも利用可能とすること ③婦人科診察室と隣接していること			レバー・混									○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○					○	○						自動・混									床排水、処置灯用架台・アンカー	内診台、処置灯（天井吊り）、超音波診断装置
	眼科	診察室	1	15	15	~~5m×3m必要~~	①可能な限りストレッチャー、車いすでも利用可能とすること ②医師1名・看護師1名・MA１名・患者１名・付添１名が利用できること。 ③バックヤード設置の場合、照明、手洗いを備えること					○		○					○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○					○	○						自動・混										
		処置室	1	15	15	~~5m×3m必要~~	①ストレッチャー、車いすでも利用可能とすること			レバー・混	自動・混								○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○					○	○						自動・混									三相200V	マルチカラーレーザー
	眼科	明室	1	40	40	~~5m×8m必要~~	①ストレッチャー、車いすでも利用可能とすること					○							○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○												自動・混									三相200V	視力検査装置、眼底カメラ、オートレフケラトメータ
		暗室	1	40	40	~~10m×4m必要~~	①ストレッチャー、車いすでも利用可能とすること												○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○												自動・混									三相200V	レーザー装置、視野検査計
	皮膚科	処置室	1	12	12		①バックヤードで各診察室間が繋がっていること ②ストレッチャー、車いすでも利用可能とすること ③処置時の換気に配慮					○		○					○	○	○	○			○	○			○	○	○	○					○	○						自動・混										
	耳鼻咽喉科	診察室	1	12	12		①ストレッチャー、車いすでも利用可能とすること ②医師1名・看護師1名・MA１名・患者１名・付添１名が利用できること。					○		○					○	○	○	○			○	○			○	○	○	○					○	○						自動・混										耳鼻科診療ユニット
		処置室	1	15	15		①ストレッチャー、車いすでも利用可能とすること					○		○					○	○	○	○			○	○			○	○	○	○					○	○						自動・混										処置台、ネブライザー
	看護外来	診察室	1	12	12		①可能な限りストレッチャー、車いすでも利用可能とすること ②医師1名・看護師1名・MA１名・患者１名・付添１名が利用できること。 ③バックヤード設置の場合、照明、手洗いを備えること					○		○					○	○	○	○			○	○			○	○	○	○					○	○						自動・混										
	中央処置室		1	60	60		①8床のベッド配置を想定する ②時間内救急搬送患者の処置が行えるスペースを確保する			レバー・混		○					○		○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○					○	○	○					自動・混				○						処置灯（移動式でも可）
	臨床心理士室		1	10	10		①専用の検査、診察部屋 ②検査用専門機器を配置するスペース ③外来患者の往来の少ない外来エリアスペースの一画に配置すること					○		○					○	○	○	○			○	○			○	○	○	○					○	○						自動・混										
	患者説明室		1	12	12		①外来ブース内に設ける（外来フロアが分かれる場合は、各フロアに1室ずつ設ける）												○	○	○	○			○	○			○																						
	バックヤード		適宜	適宜	適宜		①各診察室・処置室と可能な限り繋がっていること												○	○	○				○				○	○	○	○												自動・混										
	スタッフトイレ		4	2	8		①スタッフトイレは男女別に設ける			レバー・混		○							○	○	○	○			○					○	○	○												自動・混										
外来その他	外来スタッフ控室		1	15	15		①8人程度のスタッフが収容できるスペースとする ②外来師長が執務するスペースを確保する ③2～3人の作業スペースを確保とする			レバー・混		○	○						○	○	○				○				○	○	○	○																					
	外来患者用トイレ		適宜	適宜	適宜		①外来エリア内に男性用・女性用・多目的（オストメイト対応）を設ける（院内各フロアに、男・女・多目的それぞれ1-2か所設ける） ②多目的トイレの内1か所はおむつ交換台（重症障がい児等に対応）を設ける ③トイレ（男性、女性）・多目的トイレは各所に必要とする								○							○			○					○	○	○													自動・混						○		洗面化粧カウンター	
	授乳室		1	6	6		①1家族が利用できるようにする ②小児科・婦人科外来診察エリア付近に配置する			レバー・混											○				○				○	○	○	○																				
	風除室		適宜	適宜	適宜		①正面玄関に設置する。														○				○																								風除室の機能が十分発揮できるよう、扉位置などの工夫を行うこと。	
	総合案内		1	4	4		①1-2人程度が座ることができるオープンカウンターとする ②正面玄関など、外来患者の来訪ルートからわかりやすい場所に配置する		○			○							○	○	○				○				○																						

付属資料１　諸元表 【変更版】

※今回、着色した諸室の想定面積、規模については施設要求水準が遵守でき、医療機器、什器・備品を設置した上で、医療行為及び病院運営が支障なく合理的に行える範囲であれば、既定の面積から減少して提案することを可能とします。但し、延べ面積については、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保して下さい。

※取り消し線の諸室は今回計画が不要な諸室としました。

※その他変更箇所は赤文字で表示しています。

必要諸室		全般					建築等				電気設備														機械設備																						備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
		面積															LAN		コンセント				照明器具										医療ガス							衛生器具									
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準（主に諸室位置関係・出入口・動線に関すること）	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	スタッフ用手洗器（グースネック水栓等）	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓		
	中央受付	－	－	－		（事務管理（医事）の項参照）																						○																						
	エントランスホール	1	適宜	適宜		①外来患者の玄関付近に設ける ②災害時にトリアージ・処置等で利用できる場所として想定する						○	○						○	○	○			○	○		○							○	○																
	指導スペース	1	10	10		①中央受付付近の待合ホール内に間仕切り（備品）で確保する ②4人程度収容できるスペースが必要											○	○	○				○				○																							間仕切り
	栄養指導室	1	15	15		①模型モデル、資料等の収容スペースが必要 ②4人程度収容できるスペースが必要 ③外来エリア内に配置する（内科外来と同じフロアでなくてもよい）					○							○	○	○				○				○																							
	ブロック受付	適宜	6	6		①各診察ブロックに1ヶ所ずつ設置する （ブロックの数は、全体で2-3ブロック程度を想定する） ②1～2名の受付スタッフスペースを設けること		○			○		○					○	○	○	○			○	○			○																							
	問診カウンター	-	適宜	適宜		①ブロック受付横に着席して問診を行うカウンターを各2席分設ける		○									○	○	○				○				○																						カウンター上間仕切り	
外来その他	待合	適宜	適宜	適宜		①各診察エリア、中央受付付近に設ける ②院外処方箋FAXコーナーを設ける ③電話コーナーを設ける。災害対応用も含む ④デジタルサイネージを採用する ⑤身長体重・血圧測定を行うスペースを確保する ⑥再来受付機（2台分）、自動精算機（2台分）のスペースを確保する ⑦災害時にトリアージ・処置等で利用できる場所として想定する						○	○						○	○	○			○	○			○							○	○															患者待合表示システム用配管、補強 電動ロールスクリーン デジタルサイネージ	患者待合表示システム 自動販売機（景観を損ねない配置に配慮。）
採血採尿	採血室	1	20	20		①3ブース設置し、車椅子で使用可能なスペースとすること ②安静用のベッドスペースを1床分設ける ③中央検査室もしくは検体処理スペースに検体を受け渡すことができるようにする。検査室が別フロアの場合、検体処理スペースから、小荷物昇降機にて中央検査室へ縦動線で結ぶ ④採血室は外来エリアに近接して設ける。					○	○	○	○				○	○	○	○			○	○			○		○	○	○			○	○							自動・混									採血台、採血管準備装置
	採血受付	1	含	－		①採血受付用端末をカウンターに設置する。		○									○	○	○				○				○																						
	検体処理スペース	1	含	－		①採血室・採尿トイレが、検体検査室と隣接でない（上下階別フロア）の場合、両者に面した場所に検体処理スペースを設けるとともに、小荷物昇降機で検体検査室に搬送できるようにする。			レバー・混									○		○				○				○			○			感染															小荷物昇降機（検体検査室と採尿・採血室が別フロアの場合）	
	採尿トイレ（男・女・多目的（車椅子））	1	25	25		①一般トイレと共用 ②男性：小1箇所・大1箇所、女性2箇所、多目的トイレ1箇所を設ける ③多目的トイレにはベビーカーが入るスペースを確保する ④中央検査室もしくは検体処理スペースに検体を提出するためのパスボックスを設ける。検査室が別フロアの場合、検体処理スペースから、小荷物昇降機にて上層階の中央検査室へ結ぶ								○						○	○			○	○				○	○	○											自動・混									パスボックス 洗面化粧カウンター	
その他	倉庫	適宜	適宜	適宜		①部門内に適宜スペースを設ける																																											
2.救急部門						①放射線部門（CT・一般撮影優先）に隣接させる ②時間外受付・事務・会計窓口は守衛室と隣接させる ③建物1階に配置する ④独歩救急患者が利用する共用トイレを部門近傍に配置する ⑤外来中央処置室と近接配置する ⑥感染外来患者と内科病棟の感染病室までの院内搬送ルートに配慮する																																												
救急部門	風除室・洗浄コーナー	1	10	10		①除染シャワーを設ける									○					○	○			○	○				○	○	○			感染														○	床排水、シャワー	
	器材庫	1	15	15		①救急エリアで利用する器材を収容する														○				○				○																						
	初療室	1	20	20		①1床分（ストレッチャー）の初療スペース（簡易処置設備）を確保する		○	レバー・混		○			○				○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○				○	○	○					自動・混									無影灯・シーリングペンダント用架台・アンカー アイソレーションユニット	無影灯（天井吊り）、シーリングペンダント（天井吊り）、ポータブルX線撮影装置
	救急処置室	1	20	20		①2床分の処置・観察・点滴スペースを確保する ②救急初療室と一体で整備する			レバー・混		○					○		○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○			○	○	○					自動・混									ベッドサイドモニター用配管	ベッドサイドモニター
	救急ホール	1	適宜	適宜													○	○	○	○			○	○			○																						
	救急患者用トイレ	1	4	4		①多目的トイレとする				自動・混				○						○	○			○					○	○	○										自動・混										

付属資料１　諸元表 【変更版】

※今回、着色した諸室の想定面積、規模については施設要求水準が遵守でき、医療機器、什器・備品を設置した上で、医療行為及び病院運営が支障なく合理的に行える範囲であれば、既定の面積から減少して提案することを可能とします。但し、延べ面積については、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保して下さい。

※取り消し線の諸室は今回計画が不要な諸室としました。

※その他変更箇所は赤文字で表示しています。

必要諸室		全般					建築等				電気設備														機械設備																				備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
		面積															LAN		コンセント				照明器具									医療ガス						衛生器具									
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準（主に諸室位置関係・出入口・動線に関すること）	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	洗器（グース ネック水栓等）	スタッフ用手	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓		
	救急診察室	1	10	10		①診察机・処置台を設ける					○							○	○	○	○			○	○			○	○	○	○				○	○						自動・混										
	救急患者待合室	1	30	30		①10人程度が待つことができるスペースを確保する						○							○	○				○				○	○	○	○											自動・混										
	時間外外来受付	1	15	15		①時間外患者の受付を行う ②事務当直用のベッドを配置するスペースを確保する ③ユニットシャワーを設ける		○			○	○						○	○	○	○			○	○			○																						
	自動精算機スペース	1	適宜	適宜		①自動精算機1台分のスペースを確保する												○	○	○																													
	汚物処理室	1	6	6		①ベッドパンウォッシャーの設置を想定する			レバー・混											○	○		○	○				○	○	○	○											自動・混			○	○				三相200V	ベッドパンウォッシャー
感染外来	感染患者用トイレ（多目的トイレ）	1	4	4		①多目的トイレを1ヶ所設ける ②個室のトイレを1ヶ所以上設ける				自動・混				○						○	○			○					○	○	○			感染								自動・混										
	感染診察前室（風除室）	1	4	4		①外部からの感染患者入口に隣接させる								○	○					○				○																									
	感染用診察室	3	10	30		①陰圧仕様とする ②診察机・処置台を設ける				自動・混	○							○	○	○	○			○	○			○	○	○	○			感染	○	○	○					自動・混										
	感染用待合	1	15	15		①陰圧仕様とする ②8人が待てるスペースを設ける ③感染診察前室に隣接させる						○							○	○				○	○			○	○	○	○			感染								自動・混										
3 .外来化学療法部門					①外来部門、薬剤部門との動線短縮に配慮する ②プライバシーに配慮した場所に整備する																																											
化学療法部門	化学療法室	1	50	50		①リクライニングチェアもしくはベッド5台分のスペースを広めに確保、ベッド間の境界を明確にする ②ベッドサイドにTVを設置する ③窓を設ける ④出入り口や通路はベッド搬送が十分可能な広さとする ⑤臭気や騒音に特に配慮した環境とする ⑥室内にスタッフステーションを設け、受付スペースを備えること		○				○	○		○		○		○		○	○			○	○			○	○	○	○				○	○						自動・混								生体情報モニター用配管	生体情報モニター、リクライニングチェア、アーム型テレビ
	診察室	1	9	9		①緊急時の処置室としても使用する					○							○	○	○	○			○	○			○	○	○	○				○	○						自動・混										
	準備室	1	20	20		①準備作業テーブル、薬品・材料棚を配置する ②スタッフステーションの機能も兼ねる ②各ベッドへの視認性に配慮する。			レバー・混									○		○	○			○	○			○	○	○	○																				
	待合スペース	1	適宜	適宜		①患者や家族が待てるスペースを部門近傍（部門前廊下に確保することも可）に確保する						○								○				○				○																						
	清潔リネン棚・不潔リネンスペース	1	適宜	適宜		①清潔リネンは壁面収納で保管できるようにする ②不潔リネンは、壁面収納の下段にランドリーカートを配置できるスペースを確保する														○				○																										
	汚物処理室	1	8	8		①汚物流し、ステンレス流し台を設置する														○				○				○	○	○	○											自動・混				○					
	化学療法トイレ(多目的トイレ)	1	4	4		①多目的トイレとし、点滴のままでも利用しやすいようにする。				自動・混				○						○				○					○	○	○										自動・混										
4 .病棟部門					①スタッフステーションから各病室への動線短縮に配慮する ②下表内容に加えて、将来的に病棟フロア内にベッドサイドモニタ用配線などを追加できるよう、必要に応じて天井内に梁貫通孔を準備すること ③療養環境加算と食堂加算の算定を前提とした計画とする。																																													
病棟 急性期	病棟（SS・諸室含む）	-	-	-	30床（個室率30%以上とし、50%を目指す）	①セキュリティを高めるために患者とスタッフの動線に配慮する ②病棟出入り管理としてインターホンを設ける ③病室の並びは、スタッフステーションに個室が近いことを優先する ④エレベーターに近接する事が望ましい ⑤内科系急性期病棟とはスタッフステーションを集約化するなど、柔軟に運用できるように配慮する。																																												
	○急性期病棟（外科系）																																															

付属資料１　諸元表 【変更版】

※今回、着色した諸室の想定面積、規模については施設要求水準が遵守でき、医療機器、什器・備品を設置した上で、医療行為及び病院運営が支障なく合理的に行える範囲であれば、既定の面積から減少して提案することを可能とします。但し、延べ面積については、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保して下さい。

※取り消し線の諸室は今回計画が不要な諸室としました。

※その他変更箇所は赤文字で表示しています。

必要諸室		全般					建築等				電気設備															機械設備																						備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
		面積																LAN		コンセント				照明器具									医療ガス							衛生器具										
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準（主に諸室位置関係・出入口・動線に関すること）	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	：電子カルテ用無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	洗器（グース ネック水栓等）	スタッフ用手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓		
病棟 急性期	病棟（SS・諸室含む）	-	-	-	30床（個室率30%以上とし、50%を目指す）	①セキュリティを高めるために患者とスタッフの動線に配慮する ②病棟出入り管理としてインターホンを設ける ③病室の並びは、スタッフステーションに個室が近いことを優先する ④外科系急性期病棟とはスタッフステーションを集約化するなど、柔軟に運用できるように配慮する。																																													
	○急性期病棟（内科系）																																																
病棟 維持期	病棟（SS・諸室含む）	-	-	-	40床（一定数の個室を設けることとし、具体的な数は提案による）	①セキュリティを高めるために患者とスタッフの動線に配慮する ②病棟出入り管理としてインターホンを設ける ③病室の並びは、スタッフステーションに個室が近いことを優先する ④障がい者病棟の運用を前提とする。																																													
	○維持期病棟																																																
病棟 回復期	病棟（SS・諸室含む）	-	-	-	50床（一定数の個室を設けることとし、具体的な数は提案による）	①セキュリティを高めるために患者とスタッフの動線に配慮する ②病棟出入り管理としてインターホンを設ける																																													
	○回復期病棟																																																
病棟 地域包括ｹｱ	病棟（SS・諸室含む）	-	-	-	49床（一定数の個室を設けることとし、具体的な数は提案による）	①セキュリティを高めるために患者とスタッフの動線に配慮する ②病棟出入り管理としてインターホンを設ける																																													
	○地域包括ｹｱ病棟																																																
病棟	病室（個室）	-	18程度	18程度/室		①各室に洗面化粧台、トイレを設けること ②トイレは病室へのベッド搬入や病室入口からの患者の視認性に考慮した配置とすること ③部屋別に空調の調整を可能とすること ④できる限り東側に設けること ⑤多目的トイレ（車椅子対応）又は介助用トイレを備えること				自動・混		○		○		○		○	○	○	○			○	○		○		○	○	○					○	○	○														ベッドサイドモニター用配管	ベッドサイドモニター
	特別病室	-	18程度	18程度/室	1/病棟	①各室に洗面化粧台、トイレ・ユニットシャワーを設けること ②トイレは病室へのベッド搬入や病室入口からの患者の視認性に考慮した配置とすること ③部屋別に空調の調整を可能とすること ④できる限り東側に設けること ⑤多目的トイレ（車椅子対応）又は介助用トイレ、ユニットシャワーを備えること				自動・混		○		○		○		○	○	○	○			○	○		○		○	○	○					○	○	○														ベッドサイドモニター用配管	ベッドサイドモニター
病棟	重症個室	-	18程度	18程度/室		①部屋別に空調の調整を可能とすること ②病室（個室）同等の面積とし、将来的に病室（個室）への転用が可能な設えとする（病室（個室）のトイレに該当する箇所は上下水道の配管のみに留め、トイレの壁は設置しない） ③できる限り東側に設けること						○		○		○		○	○	○	○			○	○		○		○	○	○					○	○	○					自動・混								ベッドサイドモニター用配管 監視カメラ	ベッドサイドモニター
	感染対応個室	-	18程度	18程度/室		①陰圧設備を備える ②部屋別に空調の調整を可能とすること ③救急部門の感染外来→搬送用エレベーター→病棟→感染病床までの動線に配慮。（極力、一般患者の動線、スタッフ動線と交差しない配慮。） ④できる限り東側に設けること ⑤室内に前室（PPE対応等ができるスペース）を設けること ⑤多目的トイレ（車椅子対応）又は介助用トイレを備えること						○		○		○		○	○	○	○			○	○		○		○	○	○					○	○	○					自動・混								ベッドサイドモニター用配管 監視カメラ 陰圧空調	ベッドサイドモニター
病棟	病室（4床室）	-	32以上	32以上		①各室に洗面化粧カウンターを設けること。但し病室前に計画することも可とする。 ②部屋別に空調の調整を可能とすること ③内法で32㎡以上とすること。				自動・混		○		○		○		○	○	○	○			○	○	○	○		○	○	○					○	○	○													ベッドサイドモニター用配管	ベッドサイドモニター
	患者用トイレ	-	適宜	適宜		①介助用または、多目的トイレとすること（少なくとも4床室2室に対して1室以上を分散配置）（多目的トイレは1/病棟以上は配置すること）								○						○				○					○	○	○											自動・混						○		オストメイトは多目的トイレに1か所/フロア	
	スタッフステーション	-	適宜	適宜	1/病棟	①セミクローズタイプ（アクリル板等）とする。 ②見舞者を目視確認できるように配置すること ③記録コーナー、ドクターコーナー、看護課長コーナー、メディカルアシスタントコーナーを設ける ④薬剤業務コーナーを設け、情報端末と書籍が置ける程度のスペースを設けること（書籍、書類棚のスペース確保） ⑤廃棄物容器（使用中）の設置スペースを、患者から見えない位置に設けること ⑥遅食を保存する冷蔵庫が置けるスペースを確保すること ⑦栄養管理（栄養管理士）業務コーナーを設ける（情報端末、書籍程度が置けるスペース棚当は不要） ⑧急性期病棟の看護体制を1病棟2チームとした場合は、最適な面積を確保すること。		○			○	○		○	○	○		○	○	○	○			○	○		○		○	○	○											自動・混								○共通 生体情報モニター用配管	○共通 セントラルモニター（生体情報モニター親機） 製氷機、冷蔵庫、薬品保冷庫、薬剤金庫

付属資料１　諸元表 【変更版】

※今回、着色した諸室の想定面積、規模については施設要求水準が遵守でき、医療機器、什器・備品を設置した上で、医療行為及び病院運営が支障なく合理的に行える範囲であれば、既定の面積から減少して提案することを可能とします。但し、延べ面積については、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保して下さい。

※取り消し線の諸室は今回計画が不要な諸室としました。

※その他変更箇所は赤文字で表示しています。

必要諸室		全般					建築等				電気設備															機械設備																					備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
		面積															LAN		コンセント				照明器具									医療ガス						衛生器具										
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準（主に諸室位置関係・出入口・動線に関すること）	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	洗器（ダブルネック水栓等）	スタッフ用手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓		
	準備室	-	15	15/室	1/病棟	①スタッフステーションに隣接して配置し、スタッフステーションとの間はガラス窓とする ②作業準備コーナーを設け診療材料ピッキング、医薬品棚、診療材料棚が設置できるスペースを確保すること ③急性期病棟の看護体制を1病棟2チームとした場合は2室計画すること。			レバー・混									○	○	○	○			○	○		○	○	○	○																						
	カンファレンス室	-	15	15/室	1/病棟	①8人程度が収容できるスペースを確保する ②急性期病棟の看護体制を1病棟2チームとした場合は2室計画すること。					○	○						○	○	○				○	○		○	○	○	○													自動・混									
	患者相談室兼面談室	1	6	6/室		①4人程度が収容できるスペースを確保する								○				○	○	○				○				○																					
	休憩室（スタッフ室）	-	15	15/室	1/病棟	①8人程度が収容できるスペースを確保する。 ②急性期病棟の看護体制を1病棟2チームとした場合は、最適な面積を確保すること。			レバー・混			○						○	○	○				○				○	○	○	○																			
	汚物処理室	-	9	9/室	1/病棟	①ベッドパンウォッシャー、汚物流し、器材棚を設置する ②換気に配慮すること ③急性期病棟の看護体制を1病棟2チームとした場合は、最適な面積を確保すること。			レバー・混											○			○	○				○	○	○	○														○					三相200V	ベッドパンウォッシャー、蓄尿装置
	スタッフトイレ	-	2	2/室	4/フロア	①個室とする														○				○	○				○	○	○											自動・混									
	器材庫	-	適宜	適宜	2/病棟	①ポータブルトイレその他を保管する														○				○																										
	診察処置室	-	12	12/室	1/病棟	①診察机・処置台を配置する ②病棟中央部・スタッフステーション近接に配置する ③急性期病棟の看護体制を1病棟2チームとした場合は2室計画すること。			レバー・混									○	○	○	○			○	○		○	○	○	○														自動・混									
	観察室（リカバリ室）	-	15	15/室	1/病棟	①スタッフステーションに隣接して配置し、スタッフステーションとの間はガラス窓とする								○				○	○	○	○			○	○		○	○	○	○												自動・混									
	仮眠室	-	6	6/室	1/病棟	①各病棟からのアクセス性に配慮する						○			○			○	○	○				○				○	○	○	○											自動・混									
	清潔リネン庫	-	適宜	適宜	1/病棟	①廊下等に壁面戸棚として設けること。 ②戸棚下は、ストレッチャー等を置くことができる設えとする。 ③急性期病棟の看護体制を1病棟2チームとした場合は、最適な面積を確保すること。																		○																										
	不潔リネン庫	-	適宜	適宜	1/病棟	①ランドリーカートを置けるスペースとして確保する。 ②急性期病棟の看護体制を1病棟2チームとした場合は、最適な面積を確保すること。														○				○																										
	パントリー	-	6	6/室	1/フロア	①電子レンジ、給湯器を設置する ②配膳車保管スペースを設置する ③食堂・デイルームに近接配置すること			レバー・混											○				○				○	○	○	○																			※電子レンジの電気容量に応じた電源の回路を検討。	
	下膳室	-	4	4 /室	1/フロア	①下膳カートの留置、下膳遅れの食事の保管を行う ②汁物残飯などの一次処理を行う			レバー・混											○				○				○	○	○	○																			
	食堂・デイルーム	-	適宜	適宜	1/病棟	①食堂加算を取得できるスペースを確保すること ②手洗器は車椅子対応とすること ③給茶機置場、自動販売機置場を設置する ④家族控室としても利用するため、一般EV付近に配置する ⑤急性期病棟の看護体制を1病棟2チームとした場合は、最適な面積を確保すること。						○		○					○	○	○				○	○		○	○	○	○				○	○							自動・混									給茶機、自動販売機 コーヒーベンダー
病棟	病棟リハビリ室	-	36	36/室	1/フロア	①回復期リハ病棟内に1室（ただし、リハビリ室が同フロアの場合は不要） ②回復期リハと別の病棟フロアに1室設ける					○			○						○	○			○	○			○							○	○						自動・混									
	病棟言語聴覚室	1	10	10/室		①回復期リハ病棟内に1室（ただし、リハビリ室が同フロアの場合は不要）					○			○				○		○	○			○	○			○	○	○	○				○	○						自動・混									別紙参照
	特浴室	-	16	16/室	2/病院	①臥浴タイプの特殊浴槽を設置すること ②ストレッチャーでの利用ができ、かつ両側で介助者2名が介助できるスペースを確保すること ③回復期リハ病棟が入るフロアに配置する								○							○			○	○	○			○	○	○	○				○	○												○	三相200V パネルヒーター	特殊浴槽
	浴室（個室）	-	10	10/室	1/病院	①回復期リハ病棟が入るフロアに配置する ②一般家庭にあるサイズの浴室を確保する								○						○				○				○	○	○	○																			

付属資料１　諸元表 【変更版】

※今回、着色した諸室の想定面積、規模については施設要求水準が遵守でき、医療機器、什器・備品を設置した上で、医療行為及び病院運営が支障なく合理的に行える範囲であれば、既定の面積から減少して提案することを可能とします。但し、延べ面積については、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保して下さい。

※取り消し線の諸室は今回計画が不要な諸室としました。

※その他変更箇所は赤文字で表示しています。

必要諸室		全般					建築等				電気設備														機械設備																						備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
		面積															LAN		コンセント				照明器具									医療ガス						衛生器具											
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準（主に諸室位置関係・出入口・動線に関すること）	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	：電子カルテ用無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	洗器（グース ネック水栓等）	スタッフ用手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓		
	洗髪室	-	2	2/室	1/フロア	①ストレッチャーでそのまま利用できるサイズであること														○				○				○	○	○	○																		洗髪台	
	ユニットシャワー　（US）	-	5	5/室	1/病棟	①脱衣室を設けること ②シャワー室は、室内にスタッフが入って介助できるスペースを確保する								○						○				○	○			○	○	○	○																		シャワーユニット	
	ストレッチャーシャワー室	-	5	5/室	地域包括ケア病棟および回復期病棟毎に1室	①室内にスタッフが入って介助できるスペースを確保する								○						○			○	○	○			○	○	○	○																		三相200V	ストレッチャー用シャワー浴槽
	洗濯室	-	適宜	適宜	1/フロア	①コインランドリーとし、洗濯機と乾燥機それぞれを3台ずつ設置すること														○				○				○	○	○	○																		洗面化粧カウンター	洗濯乾燥機
その他	倉庫	適宜	適宜	適宜		①部門内に適宜スペースを設ける																																											
5.人工透析部門						①外来患者用に院外からのアクセスに配慮する（外部からの直接入場はできなくてもよい）																																														
人工透析	透析室	1	200	200		①20ベッドを配置する。 ②透析機械室から供給された透析液や、電源・情報等を頭元カウンターから供給する ③臥床時の防眩に配慮した照明を整備する ④ベッド間は1.1mを確保し、感染対策に配慮する ⑤出入口は引き戸とし、窓は開放制限付きのものにする ⑥スタッフステーションから一望できるレイアウトとする（柱による死角を極力減らし、患者動線がスタッフステーションから目視できること） ⑦窓からの外気取り込みを行いやすいようにする ⑧自動体重測定スペースが必要 ⑨各ベットの上に照明が必要 ⑩車椅子使用患者用として3床分を、ベッドの間隔1.5m程度確保する		○				○		○		○		○		○	○			○	○			○	○	○			透析	○	○					自動・混									透析液供給配管用ピット、生体情報モニタ用配管、吸引瓶設置用アタッチ、テレビ用アームもしくは天吊の架台、床コンセント2口、カードリーダー	透析装置、生体情報モニタ、テレビ（アームもしくは天吊）
	透析個室	1	~~20~~ 12	~~20~~ 12		①感染症患者対応用の個室として~~2ベッド~~1ベッド分設ける。廊下側から直接入場できるようにする。 ②透析機械室から供給された透析液や、電源・情報等を頭元カウンターから供給する ③入室時に他の患者との動線交錯が少なくなるよう、レイアウトに配慮する。 ④ベッド周辺には~~1.5m~~1.0m以上の空間を確保する ⑤スタッフステーションから見える壁の設えとする。		○				○		○		○		○		○	○			○	○			○	○	○	○		透析	○	○					自動・混									透析液供給配管用ピット、生体情報モニタ用配管	透析装置、生体情報モニタ
	スタッフステーション	1	含む	-		①透析室全体を管理しやすい場所に、5人程度が業務できるスペースを確保する ②オープンカウンター形式とする。また、受付窓口も同所で行うとする。 ③透析室に含むものとする。		○			○		○	○			○	○	○	○	○			○	○			○	○	○	○				○	○					自動・混										
	準備室	1	12	12		①準備作業テーブル、薬品・材料棚を配置する ②スタッフステーションと隣接する（スタッフステーションとの間はガラス窓とする） ③薬剤業務コーナー（ミキシング等）を配置する ④診療材料棚、医薬品棚、診療材料棚、保管棚を設置しスペースを確保する				レバー・混								○		○	○			○	○			○	○	○	○				○	○					自動・混										薬用保冷庫
	清潔リネン庫	1	適宜	適宜		①清潔リネンは壁面収納で保管できるようにする														○				○																										
	不潔リネン庫	1	適宜	適宜		①不潔リネンは、壁面収納の下段にランドリーカートを配置できるスペースを確保する														○				○																										
	汚物処理室	1	6	6		①汚物流し、ステンレス流し台を設置する			レバー・混											○				○				○	○	○	○															○					
	診察室	1	10	10		①診察机、処置台を設置する					○			○				○	○	○				○				○	○	○	○																			
	スタッフ休憩室	1	11	11		①5人程度が同時に休憩できる程度の部屋を設ける ②トラブル時の緊急ブザーの設置			レバー・混		○	○								○				○				○	○	○	○								自動・混										
	器材庫	1	18	18		①透析で使用する材料、透析液等を保管する。 ②透析機械室に隣接して配置する ③透析室・廊下から直接入場できるようにする。					○				○			○		○				○																										
	透析機械室	1	21	21		①透析液を製造するための装置を配置する ②大型透析装置の設置・更新時の機器搬入ルート確保に配慮する ③水漏れ発生時に他所に影響しないよう、床立上・傾斜などに配慮する ④器材庫・透析室・廊下から直接入場できるようにする。										○		○		○	○			○	○			○	○	○	○			透析							自動・混									透析液供給配管用ピット、透析排水中和装置、臭い対策の特殊排気、除湿対策	透析液製造装置
	更衣室	2	12	24		①男女別に設ける ②男女別各30～35人用（9人用ロッカー）設けることができるスペースを確保する								○		○				○				○				○	○	○	○																			

付属資料１　諸元表 【変更版】

※今回、着色した諸室の想定面積、規模については施設要求水準が遵守でき、医療機器、什器・備品を設置した上で、医療行為及び病院運営が支障なく合理的に行える範囲であれば、既定の面積から減少して提案することを可能とします。但し、延べ面積については、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保して下さい。

※取り消し線の諸室は今回計画が不要な諸室としました。

※その他変更箇所は赤文字で表示しています。

必要諸室		全般					建築等				電気設備														機械設備																						備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
		面積															LAN		コンセント				照明器具									医療ガス							衛生器具									
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準（主に諸室位置関係・出入口・動線に関すること）	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	洗器（グースネック水栓等）	スタッフ用手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓		
	多目的トイレ	1	4	4		①透析室入口近くに配置する。				自動・混				○		○				○				○					○	○	○											自動・混						○			
	待合スペース	1	15	15		①3～4人程度が着席できるスペースを確保する。										○				○				○				○	○	○	○											自動・混									
6.内視鏡検査部門						①放射線部門のX-TVと近接しない場合、放射線部門との移動のしやすさに配慮する（エレベーターに近接し、直下で結ばれる動線が望ましい）																																													
内視鏡検査室	内視鏡室	2	20	40		①バックヤードで各内視鏡室がつながり、器材・スタッフの出入りがバックヤード側でできるようにする ②ベッドでも利用できるよう建具等サイズ、動線に配慮する					○					○		○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○				○	○				○		自動・混									内視鏡モニター、医ガス等の配線・配管経路は天井収まりとする シーリングペンダント用架台・アンカー	内視鏡モニター（2面）、シーリングペンダント
	バックヤード	1	適宜	適宜		①各内視鏡室、洗浄室、器材室と近接し、患者動線と分離したものとする										○				○	○			○				○																						
	受付	1	適宜	適宜		①待合室に隣接して設ける		○			○				○	○		○	○	○	○			○	○			○																						
	患者用トイレ　　個室	3	4	12		①うち1室は車いす用、2室は男女別の個室とする				自動・混				○		○				○				○	○				○	○	○											自動・混									
	患者用更衣室	2	3	6		①1人で利用する個室とする								○		○				○				○	○																									
	前処置室	1	32	32		①下部消化管検査の前処置:6人程度が収容できる場所とする ②患者用トイレ・患者用更衣室とは近接させる ③患者用のロッカー（3列×２段）の配置スペースを確保する ④プライバシーに配慮した設えとすること						○		○		○		○	○	○	○			○	○			○	○	○	○											自動・混									
	リカバリー室	1	32	32		①上部、下部で共用とする ②ベッド3台が設置可能なスペースを確保すること ③内視鏡室と近接配置すること ④プライバシーに配慮した設えとすること								○		○		○	○	○	○			○	○			○	○	○	○				○	○						自動・混										リクライニングチェア
	洗浄室	1	12	12		①洗浄エリアと器材保管・準備室は、洗浄済み器材の衛生管理が十分に行えるように配置すること ②検査室のバックヤードに配置する			レバー・混							○		○	○	○	○			○	○			○	○	○	○			中和								自動・混				○					洗浄機臭気対策排気配管	内視鏡洗浄機
	器材庫	1	15	15		①医薬品、診療材料等の棚、及び保管棚を設置し、各準備作業ができるスペースを確保すること										○				○				○	○			○																						
	スタッフ室	1	10	10		①4-5人程度が休憩できるスペースを確保する			レバー・混			○				○		○	○	○				○				○	○	○	○																				
	患者待合	1	20	20		①6-8人程度が座れるスペースを確保する ②うち、2人分はカーテン間仕切りで、上部内視鏡の前処置スペースを入口付近に確保する						○				○			○	○				○				○																						
	手洗いコーナー	1	適宜	適宜		①更衣室に隣接させ、更衣後の手洗い・身だしなみができるようにする ②手洗いを同時に2人で使えるようにする				自動・混						○				○				○					○	○	○																				
7.健診センター						①婦人科外来・内視鏡部門・放射線部門との連動に配慮（内視鏡検査は内視鏡部門、CT・MRIは放射線部門内で行う） ②院外からの受診者動線を、病院患者動線とできる限り混在しないように配慮する。 ③受診者が健診センターに迷わず向かうことができるように、動線や案内に配慮する。																																													
健診センター	待合ホール	1	50	50		①30～35人程度が余裕を持って座って待つことができるスペースを確保する						○		○		○			○	○				○				○	○	○	○											自動・混									
	通路	1	適宜	適宜												○				○				○				○																						
	食事室	1	16	16		①10人程度が余裕を持って座って待つことができるスペースを確保する ②集団指導室と兼用で運用する						○		○		○			○	○				○				○	○	○	○											自動・混									
	事務室	1	~~50~~ 40	~~50~~ 40		①12人程度が執務できる程度の事務室を確保する ②待合スペースや入口からわかりやすい場所に受付を設ける		○	レバー・混		○	○		○		○		○	○	○				○				○	○	○	○																				

付属資料１　諸元表 【変更版】

※今回、着色した諸室の想定面積、規模については施設要求水準が遵守でき、医療機器、什器・備品を設置した上で、医療行為及び病院運営が支障なく合理的に行える範囲であれば、既定の面積から減少して提案することを可能とします。但し、延べ面積については、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保して下さい。

※取り消し線の諸室は今回計画が不要な諸室としました。

※その他変更箇所は赤文字で表示しています。

必要諸室		全般					建築等				電気設備															機械設備																					備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
		面積															LAN		コンセント				照明器具										医療ガス							衛生器具									
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準（主に諸室位置関係・出入口・動線に関すること）	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	：電子カルテ用無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	スタッフ用手洗器（グースネック水栓等）	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓		
	更衣室（M･W）	2	10	20		①男女別に設ける ②ロッカー（4人用）を5台、健診着用の棚とランドリーボックスを置くスペースを確保する。								○		○				○				○				○	○	○	○											自動･混									
	トイレ（M･W）	2	8	16		①男性用は小便器2つと個室1室、女性用は個室2室程度とする ②尿検体を回収するパスボックスを設ける（前室に面して配置）				自動･混				○		○				○				○					○	○	○											自動･混									
	多目的トイレ	1	4	4		①車椅子用トイレとする ②尿検体を回収するパスボックスを設ける（前室に面して配置）]				自動･混				○		○				○				○					○	○	○											自動･混									
	前室	1	5	5		①トイレから出される尿検体の整理を行うスペースを確保する （検査は検体検査室内で実施）										○								○																										
	採血室	1	12	12		①採血場所2ブースと、採血管などの保管棚等を配置する										○		○		○				○				○	○	○	○											自動･混									
	診察･問診室	2	8	16		①診察机、処置台を設置する					○		○	○		○		○		○				○		○		○	○	○	○											自動･混									
	清潔リネン棚･不潔リネンスペース	1	適宜	適宜		①清潔リネンは壁面収納で保管できるようにする ②不潔リネンは、壁面収納の下段にランドリーカートを配置できるスペースを確保する										○								○																										
	身体測定･静養室	1	10	10		①採血後静養用ベッド（1ベッド）、身長体重測定場所を確保する								○		○		○		○				○				○	○	○	○											自動･混									身長体重計
	心電図室	1	10	10		①心電図測定用ベッド（1ベッド）を配置する					○			○		○		○		○				○				○	○	○	○											自動･混									心電図
健診センター	超音波室	2	10	20		①超音波検査用ベッド（1ベッド）を配置する								○		○		○		○				○		○		○	○	○	○											自動･混									超音波検査装置
	肺機能検査室	1	6	6		①肺機能検査スペースを確保する								○		○		○		○				○				○	○	○	○											自動･混									肺機能検査装置
	眼底･眼圧･視力検査室	1	15	15		①眼底検査、眼圧検査、視力検査（卓上）を行うスペースを確保する								○		○		○		○				○		○		○	○	○	○											自動･混									眼底眼圧検査装置、視力検査装置（卓上）
	聴力検査室	1	8	8		①ボックス型により整備する										○		○		○				○				○																					聴力検査装置（ボックス）
8.放射線検査部門					＊アンギオは手術部門に隣接（手術部門の項に記載）	①救急部門との動線短縮に配慮する(同一フロア内) ②外来患者･健診受診者へのわかりやすさに配慮する ③放射線関連機器の搬入動線を確保する ④内視鏡部門とのアクセス性に配慮する（上下階であっても構わない） ⑤病棟からのベッド搬送による利用を想定した幅等を確保する。																																												
放射線診断	X線一般撮影室（立位･臥位）	2	26	52		①更衣ゾーンを撮影室内に設置する ②各室に臥位･立位の設置を想定する ③救急部門からのアクセスに配慮した位置に配置する										○		○		○	○		○	○	○	○		○							○	○														装置付随設備対応、表示灯、架台･アンカー 停電（計画停電含む）時、稼働可能な電源供給とすること。（一般撮影装置はどちらか1台）	一般撮影装置
	X-TV室（胃透視用）	1	26	26		①更衣ゾーンを撮影室内に設置する			レバー･混							○		○		○	○		○	○	○	○		○							○	○									○			装置付随設備対応、表示灯、架台･アンカー	X線TV撮影装置
	X-TV室（ERCP･下部内視鏡）	1	36	36		①更衣ゾーンを撮影室内に設置する			レバー･混							○		○		○	○		○	○	○	○		○							○	○									○			装置付随設備対応、表示灯、架台･アンカー 停電（計画停電含む）時、稼働可能な電源供給とすること。（X線TV装置はERCP･下部内視鏡の1台）	X線TV撮影装置
	乳房撮影室（マンモグラフィ）	1	12	12		①更衣ゾーンを撮影室内に設置する										○		○		○	○		○	○	○	○		○			○				○	○												装置付随設備対応、表示灯	乳房撮影装置
	乳房撮影室（マンモグラフィ）操作室	1	5	5														○										○																						
	骨密度測定室	1	20	20												○		○		○	○		○	○	○	○		○							○	○												装置付随設備対応、表示灯	骨密度測定装置

付属資料１　諸元表 【変更版】

※今回、着色した諸室の想定面積、規模については施設要求水準が遵守でき、医療機器、什器・備品を設置した上で、医療行為及び病院運営が支障なく合理的に行える範囲であれば、既定の面積から減少して提案することを可能とします。但し、延べ面積については、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保して下さい。

※取り消し線の諸室は今回計画が不要な諸室としました。

※その他変更箇所は赤文字で表示しています。

必要諸室		全般					建築等				電気設備														機械設備																					備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
		面積															LAN		コンセント				照明器具									医療ガス						衛生器具										
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準（主に諸室位置関係・出入口・動線に関すること）	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	洗面器／手洗器	洗器（ネック水栓等）	スタッフ用手洗器（グース）	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓		
	【将来スペース】	-	-	約200㎡程度		※将来的に、PET装置を整備することができる将来スペースを確保する。整備する際に、増築により対応するものとする。（増築スペースは、ピロティとして活用することも可とするが、将来の荷重への対応は必要とする。） なお、増築する将来スペースは放射線部門への動線を確保する計画とすること。本工事では、受電電気容量は見込むが、受変電設備としては増設スペースがあれば良い。 また、将来スペースに向けた給排水配管ルートの確保は本工事で対応すること。																																										PET-CTもしくはPET-MRの整備が可能な、建物全体での荷重や受電電気容量を確保すること。 【参考】主な機器想定 重量：約13,200kg 電力：155kVA	
	器材庫	1	16	16		①施錠管理ができる部屋とする												○		○				○	○			○																						
	受付	1	適宜	適宜		①外来患者の来訪アクセスに配慮した位置に配置する		○			○			○				○	○	○	○			○	○			○																						
	画像管理スペース	1	適宜	適宜		①受付付近に２人程度収容可能なスペースを設ける						○				○		○	○	○	○			○	○			○		○	○	○											自動・混								待合室観察モニタ、装置電源盤	操作卓
	操作ホール	適宜	適宜	適宜		①各検査室を裏動線で繋ぐ形で設ける（各撮影室、受付、読影室、画像管理スペース（受付近接）、操作ホール）						○				○		○	○	○	○			○	○			○		○	○	○											自動・混								OAフロア	
	読影室	1	20	20		①3人程度収容できる部屋とする					○	○						○	○	○	○			○	○	○		○		○	○	○																			
	清潔リネン棚・不潔リネンスペース	1	適宜	適宜		①上部は壁面棚、下段に不潔リネン回収ボックスを配置できるようにする																																												
	スタッフルーム	1	25	25		①16人程度収容できる部屋とする(カンファレンス室兼用)					○	○						○	○	○				○				○	○	○	○																				
	CT室	1	36	36		①救急部門からのアクセスに配慮した位置に配置する					○					○		○		○	○		○	○	○	○		○			○				○	○														装置付随設備対応、表示灯、インジェクター用架台・アンカー 停電（計画停電含む）時、稼働可能な電源供給とすること。	全身用X線コンピューター断層撮影装置
	MRI室	1	45	45							○					○		○		○	○		○	○	○	○		○			○				○	○													装置付随設備対応、表示灯、クエンチ配管、チラー用配管	超電導磁気共鳴診断装置（3.0Tを想定）
	MRI前室	1	20	20		①ストレッチャーへの載せ替えができるスペース取りを行う			レバー・混											○				○	○			○			○																		装置付随設備対応、標示灯	
	MRI機械室	1	10	10												○		○		○	○			○	○			○			○																		装置付随設備対応、チラー用配管	
	MRI更衣室	1	8	8		①MRI前室に近接して個室ブースとして整備する														○				○				○																						
	診察兼処置室	1	12	12														○	○	○				○				○		○	○											自動・混									
	待合	1	適宜	適宜								○		○						○				○				○																					観察カメラ	
9 .検査部門						①検体検査室と外来中央採血・採尿室は隣接もしくは上下階接続とする。 ②生理検査部門は集約し、内科等外来に近接させる。（外来との近接は生理検査を優先させる。検体検査部門と生理検査部門は別フロアであっても構わない） ③病理検査部門は、検体検査室と近接して配置する																																													
検体検査部門	中央検査室	1	120	120		①中央検査室・中央採血室・採尿用トイレは、同フロアの場合は隣接させる(別フロアの場合、検体処理スペースから、小荷物昇降機にて上層階の中央検査室へ結ぶ) ②各種検査機器を設置する ③将来機器余力スペースを確保する。			レバー・混		○				○	○		○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○		感染							自動・混				○					単相200V、三相200V、検査排水処理設備 各検査装置に発電機回路を供給する	生化学自動分析装置、免疫検査装置、血液分析装置、輸血分析装置、一般検査装置、流し付き実験台
	試薬保管庫	1	20	20		①試薬等の保管を行う														○	○			○				○																						試薬保冷庫
	標本保管庫	1	15	15		①病理標本（ブロック・プレパラート等）の保管を行う														○				○				○																						
	血液製剤保管庫	1	10	10		①血液製剤の保管を行う														○	○							○																					単相200V、三相200V	輸血・検体用保冷庫
	スタッフ室	1	20	20		①8人程度が休憩できるスペースを確保する			レバー・混		○	○						○	○	○	○			○				○	○	○	○																			

付属資料１　諸元表 【変更版】

※今回、着色した諸室の想定面積、規模については施設要求水準が遵守でき、医療機器、什器・備品を設置した上で、医療行為及び病院運営が支障なく合理的に行える範囲であれば、既定の面積から減少して提案することを可能とします。但し、延べ面積については、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保して下さい。

※取り消し線の諸室は今回計画が不要な諸室としました。

※その他変更箇所は赤文字で表示しています。

必要諸室		全般					建築等				電気設備														機械設備																					備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
		面積															LAN		コンセント				照明器具									医療ガス							衛生器具										
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準（主に諸室位置関係・出入口・動線に関すること）	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	洗器（グローブ等）スタッフ用手ネック水栓	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓		
	検査部長室	1	10	10		②1人程度の執務スペースを確保すること					○									○				○				○	○	○	○											自動・混									
	細菌検査室	1	20	20		①中央検査室内に隣接させる ②PCR分析装置等設置できるスペース ③オートクレーブを設置できるスペース ④陰圧対応とする。			レバー・混		○					○		○	○	○	○		○	○	○			○	○	○				感染											自動・混									安全キャビネット用ダクト（ドラフトチャンバー） 各検査装置に発電機回路を供給する	安全キャビネット、細菌固定感受性装置、流し付き実験台、PCR装置、血液培養装置、オートクレーブ
	前室（細菌検査室）	1	4	4		①細菌検査室に隣接させる ②換気に配慮する。														○				○				○	○	○	○											自動・混									パスボックス	
生理機能検査部門	エコー室	3	15	45		①ベッド搬送可能な広さを確保すること												○		○	○			○	○	○		○	○	○	○				○	○						自動・混										超音波検査装置
	生理検査室	1	25	25		①3ブース設け、それぞれに処置ベッド・検査装置を配置する ②利用用途は、心電図、負荷心電図、ABI測定を想定する												○		○	○			○	○	○		○	○	○	○				○	○							自動・混										心電計
	呼吸機能室	1	4	4		①生理検査室と隣接させて配置する												○		○	○			○	○	○		○	○	○	○				○	○						自動・混										呼吸機能検査装置
	脳波	1	9	9		①シールドルームとすること												○		○	○			○	○	○		○	○	○	○				○	○						自動・混									観察カメラ	脳波計
	筋電図	1	9	9		①シールドルームとすること												○		○	○			○	○	○		○																					観察カメラ	筋電図計
	聴力検査室	1	9	9		①建築側で整備する												○		○	○			○	○			○																					観察カメラ、聴力検査ボックス	聴力検査装置
	操作スペース（脳波室）	1	適宜	適宜		①脳波・筋電図室に隣接させる ②各生理検査室とを繋ぐバックヤードが設けられる場合は、そこをその機能として利用することも可能とする					○							○	○	○	○			○	○			○	○	○	○											自動・混									観察カメラモニター	操作卓
	洗髪用洗面スペース	1	適宜	適宜		①脳波・筋電図・聴力検査室付近に配置する				自動・混										○				○					○	○	○																	○	洗髪流し、ヘアトラップ	
	運動負荷心電図室	1	15	15		①運動負荷心電図検査を実施する単独の部屋とする												○		○	○		○	○	○	○		○	○	○	○				○	○						自動・混									単相200V	トレッドミル、エルゴメータ
	解析室	1	30	30		①2人程度が所見を記入できるスペースを確保する ②各生理検査室とを繋ぐバックヤードが設けられる場合は、そこをその機能として利用することも可能とする ③脳波ペーパー、ホルターペーパーの保管スペースを確保する					○							○	○	○	○			○				○	○	○	○											自動・混										
	待合	1	41	41		①5～6人程度が待つことができるスペースを確保すること						○								○				○				○																						
	受付	1	4	4		①1～2名の受付スタッフスペースを設けること		○			○		○					○	○	○	○			○				○																						
病理部門室	病理検査室	1	20	20		①染色などを行えるスペースを確保する ②陰圧対応とする。			レバー・混							○		○	○	○	○			○	○			○	○	○	○																			安全キャビネット用ダクト（ドラフトチャンバー）	安全キャビネット、作業台
１０.薬剤部門						①各部署への往来に優れた位置に配置する ②1階への配置は必須ではない																																												
薬剤部	調剤室	1	95	95		①自動錠剤分包機、自動散薬分包機、薬剤棚、麻薬保冷庫、調剤台、水薬分注装置、作業台、監査台を配置し、医薬品の搬入・払出を行うスペースを確保する ②病棟払出用カート（10台程度）を留置・作業するスペースを確保する ③薬剤の検収を行えるスペースを確保する ④持参薬・退院時処方を保管する棚を配置する ⑤8人程度のスタッフが記録作業を行えるPCスペースを室内に設ける。			レバー・混		○	○			○				○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○											自動・混									単相200V、監視カメラ（毒薬保冷庫） 水剤用蛇口	水剤台、散薬分包機（集塵機付き）、毒薬保冷庫、薬用保冷庫、錠剤分包機、薬剤棚、調剤棚等
	無菌調製室	1	8	8		①クリーンベンチを配置する ②陽圧対応とする。												○	○	○	○			○	○			○	○	○	○											自動・混										クリーンベンチ
	抗がん剤調製室	1	8	8		①安全キャビネットを設置する ②陰圧対応とする。										○		○	○	○	○			○	○			○	○	○	○											自動・混									安全キャビネット用ダクト、パスボックス	安全キャビネット
	前室	1	4	4		①無菌調製室、抗がん剤調製室に隣接し設置する														○				○					○	○	○										自動・混										

付属資料１　諸元表 【変更版】

※今回、着色した諸室の想定面積、規模については施設要求水準が遵守でき、医療機器、什器・備品を設置した上で、医療行為及び病院運営が支障なく合理的に行える範囲であれば、既定の面積から減少して提案することを可能とします。但し、延べ面積については、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保して下さい。

※取り消し線の諸室は今回計画が不要な諸室としました。

※その他変更箇所は赤文字で表示しています。

必要諸室		全般					建築等				電気設備															機械設備																					備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
		面積															LAN		コンセント				照明器具									医療ガス						衛生器具										
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準（主に諸室位置関係・出入口・動線に関すること）	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	LAN：電子カルテ用含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	スタッフ用手洗器（グースネック水栓等）	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓		
薬剤部	薬品保管庫	1	15	15		①調剤室に隣接して配置する ②輸液保管スペース（年末年始は7日分のストックが必要） ②出入口に近い場所が好ましい。												○	○	○	○			○	○			○																								薬用保冷庫
	スタッフ室	1	10	10		①6人程度収容するスペースを確保する			レバー・混		○	○						○	○	○				○				○	○	○	○											自動・混									
	DI室	1	10	10		①4人程度収容でき、廊下に面した場所に配置する												○	○	○				○				○	○	○	○											自動・混									
	薬渡し窓口	1	適宜	適宜		①調剤室と一体で設ける		○			○ FAX				○			○	○	○	○			○	○																								
１１.手術部門						①中央滅菌・材料部門と隣接が望ましい。やむを得ず、上下階で分かれる場合は専用エレベータで両部門間をつなぎ、運用上支障のない計画とすること。また、患者搬送用エレベータ付近に部門を配置する ②手術部門のフロアタイプは、中央ホール型（患者、使用前器材等、使用済み器材等が同一ホールから各手術室へ出入りするプラン）とする ③手術共用廊下は、4m程度確保する（棚、物品を並べるため）																																											
手術部	手術室1（BCR）	1	100	100		①内法8.0m×9.0m程度とする ②空気清浄度class100を確保する ③整形外科手術用とし放射線防護を行う ④シーリングペンダントを設置する					○				○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○									手術室内装、術場カメラ、術野カメラ用配管、単相200V、無影灯用配管、標示灯、無影灯・シーリングペンダント用天吊架台、放射線防護	術野カメラ、無影灯、シーリングペンダント、麻酔器、生体情報モニタ、ポータブルX線装置、Cアーム
	手術室2	1	68	68		①内法7.0m×7.0m程度とする ②空気清浄度class10,000を確保する ③一般手術用とする ④シーリングペンダントを設置する					○				○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○									手術室内装、術場カメラ、術野カメラ用配管、単相200V、無影灯用配管、標示灯、無影灯・シーリングペンダント用天吊架台	術野カメラ、無影灯、シーリングペンダント、麻酔器、生体情報モニタ、ポータブルX線装置、Cアーム
	手術室3	1	45	45		①内法7.0m×6.0m程度とする ②空気清浄度class10,000を確保する ③一般手術用とする ④シーリングペンダントを設置する					○				○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○									手術室内装、術場カメラ、術野カメラ用配管、単相200V、無影灯用配管、標示灯、無影灯・シーリングペンダント用天吊架台	術野カメラ、無影灯、シーリングペンダント、麻酔器、生体情報モニタ、ポータブルX線装置、Cアーム
	手術室１　　前室	1	21	21		①BCRである手術室１に接続する ②空気清浄度class100,000を確保する														○	○			○	○			○																						
	手術ホール前室	1	15	15		①ベッドの乗せ換えは行わない ②受付に面して設置し、手術患者の受付を行う														○	○			○	○			○																						
	受付	1	適宜	適宜		①スタッフステーションの一角に設ける ②手術ホール前室に面して設置する。		○			○				○			○	○	○	○			○	○			○	○	○	○											自動・混									術野カメラ用配管 術場監視モニタ ※患者から見えない位置	
	手術ホール	1	90	90		①一足制、中央ホール型の配置とする ②手術用手洗い（3人用）2基を集約して配置。水は水道水とする ④空気清浄度class100,000を確保する ⑤廊下幅は4m必要。												○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○														○							単相200V	手術用手洗い装置 大型フリーザー
	器材スペース	1	40	40		①MEの作業用スペースを設ける ②ポータブル撮影装置を保管する想定とし、施錠ができるようにする ③内視鏡システムの保管スペースを確保												○	○	○	○	○	○	○	○			○							○	○	○														単相200V	内視鏡装置、外科用イメージ、ポータブルX線撮影、画像読取装置　等
	ME作業スペース	1	適宜	適宜		①ポータブル器材置場の一角に確保												○	○	○	○			○	○			○							○	○	○														
	スタッフ控室	1	20	20		①10名程度のスタッフが休憩や食事を行う			レバー・混		○	○						○	○	○	○			○	○			○	○	○	○																			術野カメラ用配管 術場監視モニタ	
	汚物処理室	1	6	6		①換気に配慮する。			レバー・混											○				○				○	○	○	○													○	○					
	スタッフステーション	1	20	20		①カンファレンスを行う場所として兼用とし、ミーティングテーブル等を配置する ②進捗管理等のモニタを配置する		○			○	○			○			○	○	○	○			○	○			○	○	○	○											自動・混									術野カメラ用配管 術場監視モニタ	
	材料保管庫	1	30	30		①診療材料や準備滅菌器具類を保管・留置する												○	○	○	○			○	○			○	○	○	○											自動・混										準備作業テーブル、材料棚

付属資料１　諸元表 【変更版】

※今回、着色した諸室の想定面積、規模については施設要求水準が遵守でき、医療機器、什器・備品を設置した上で、医療行為及び病院運営が支障なく合理的に行える範囲であれば、既定の面積から減少して提案することを可能とします。但し、延べ面積については、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保して下さい。

※取り消し線の諸室は今回計画が不要な諸室としました。

※その他変更箇所は赤文字で表示しています。

必要諸室		全般					建築等				電気設備													機械設備																				備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
		面積															LAN		コンセント				照明器具									医療ガス							衛生器具								
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準（主に諸室位置関係・出入口・動線に関すること）	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	洗器（グース ネック水栓等）	スタッフ用手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓		
	執刀医控室	1	15	15		①5-6人程度が休憩できる場所を確保する												○	○	○				○				○	○	○	○											自動・混								術野カメラ用配管 術場監視モニタ	
	診察説明室	1	8	8		①診察机・面談用机を配置する。 ②切出室と近接させる												○	○	○				○				○	○	○	○											自動・混									
	手術用器械展開スペース	1	15	15		①手術に必要な器械等を展開するためのスペース、もしくは部屋として確保する ②空気清浄度は最低10,000が必要														○				○				○																					
	標本整理スペース兼切出室	1	20	20		①切出作業までを行う。			レバー・混									○	○	○				○				○	○	○	○														○			換気設備を十分に確保する	切り出し台
	手術更衣室（M）	1	18	18		①24人程度のロッカー（3人用×8台分）を配置する														○				○	○			○	○	○	○											自動・混	自動・単								
	手術更衣室（W）	1	18	18		①24人程度のロッカー（3人用×8台分）を配置する														○				○	○			○	○	○	○											自動・混	自動・単								
	スタッフ用足洗い場	1	4	4		①スタッフ用の足洗場を配置する（男女兼用）														○				○					○	○	○																○		
手術部	スタッフ用トイレ	2	2	4		①手術更衣室（M）（W）それぞれに1室ずつ設ける														○				○					○	○	○										自動・混									
	更衣室	1	4	4		①同時利用は1人を想定し、室内にロッカーを1台配置する]														○				○				○	○	○	○											自動・混									
	麻酔科医控室	1	8	8		①2人程度の収容場所を確保する			レバー・混		○	○						○	○	○	○			○	○			○	○	○	○											自動・混									電子カルテ端末
	患者用トイレ（多目的トイレ）	1	4	4		①車椅子用とする				自動・混										○				○					○	○	○										自動・混									
	多目的室	1	10	10		①手術部門（外）の前に配置（必要に応じて患者家族待合として利用）														○				○																								
アンギオ	アンギオ室	1	62	62		①手術ホールから入室する形とする					○			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○			○							○	○	○	○	○	○	○									手術室内装、術野カメラ用配管、観察カメラ用配管、単相200V、無影灯用配管、表示灯、血管造影装置・無影灯・シーリングペンダント用天吊架台 停電（計画停電含む）時、稼働可能な電源供給とすること。	心電図、インジェクター、術野カメラ、観察カメラ、無影灯、シーリングペンダント、麻酔器、生体情報モニタ、血管造影装置
	アンギオ前室	1	20	20		①手術ホールとアンギオ室の間に配置する ②病棟ベッドでの入室ができるようにする			レバー・混											○	○			○	○			○	○	○	○																			
	アンギオ機械室	1	15	15		①アンギオ室の付近に設置する										○		○	○	○	○	○	○	○	○			○			○																			
	アンギオ操作室	1	20	20		①アンギオ室に隣接して配置する									○	○		○	○	○	○	○	○	○	○			○																						
１２.中央滅菌・材料部門						①洗浄、組立・滅菌それぞれのゾーンを分ける2層構造とする ②手術部門と隣接が望ましい。やむを得ず、上下階で分かれる場合は専用エレベータで両部門間をつなぎ、運用上支障のない計画とすること。																																											
中央滅菌・材料部門	洗浄消毒室	1	50	50		①超音波洗浄器2台、ウォッシャーディスインフェクター2台（パススルー型）を設置する ②回収エリアを設ける ③1-2名程度収容できる事務スペースを確保する			レバー・混		○					○		○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○		○	高温 高圧			○				自動・混				○				単相200V、三相200V	超音波洗浄機、ステンレス流し台、乾燥機、恒温槽
	組立・既滅菌室	1	50	50		①プラズマ滅菌器1台、オートクレーブ2台、EOG1台を設置する ②空気清浄度class10,000とする ③既滅菌器材の保管スペースを確保する					○					○		○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○		○	高温 高圧							自動・混								三相200V、ウォッシャーディスインフェクター用RO水送り配管・給排気配管、ホルマリン用排気配管、EOG用排気配管	ウォッシャーディスインフェクター、チューブ乾燥機、プラズマ滅菌器、オートクレーブ、EOG
	機械室	1	15	15		①オートクレーブ・ウォッシャー用蒸気発生装置、RO水製造装置を配置、中央材料部門内に配置する										○				○	○			○	○			○	○	○	○			高温 高圧														蒸気・RO水供給用配管	オートクレーブ・ウォッシャー用蒸気発生装置、RO水製造装置

付属資料１　諸元表 【変更版】

※今回、着色した諸室の想定面積、規模については施設要求水準が遵守でき、医療機器、什器・備品を設置した上で、医療行為及び病院運営が支障なく合理的に行える範囲であれば、既定の面積から減少して提案することを可能とします。但し、延べ面積については、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保して下さい。

※取り消し線の諸室は今回計画が不要な諸室としました。

※その他変更箇所は赤文字で表示しています。

必要諸室		全般					建築等				電気設備														機械設備																					備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
		面積																LAN		コンセント				照明器具									医療ガス							衛生器具									
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準（主に諸室位置関係・出入口・動線に関すること）	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	一酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	スタッフ用手洗器（グースネック水栓等）	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓		
	払出室	1	6	6		①病棟・外来へ払出できるパスボックスを設置する														○				○																								パスボックス	
その他	倉庫	適宜	適宜	適宜		①部門内に適宜スペースを設ける																																											
１３.臨床工学部門						①手術部門との動線、外部・病棟エレベータからの動線に配慮する ②窓に面した場所に整備する																																													
臨床工学部門	ME室	1	40	40		①充電用電源・メンテナンス用医療ガスを適所に設けること ②個人用透析装置、人工呼吸器等中央管理機器の保管場所を確保する					○							○	○	○	○			○	○			○	○	○	○				○	○	○					自動・混									MEメンテナンス用の床排水を設ける 暗唱番号式ロック	
	スタッフ室	1	15	15		①ME室に隣接し設置し、4～5人程度収容できる部屋とする			レバー・混		○							○	○	○	○			○	○			○	○	○	○																		暗唱番号式ロック	
１４.リハビリテーション部門						①搬送用エレベータとのアプローチに配慮する ②必ずしも回復期リハとの隣接は必要ではない ③部門面積は院内全体（サテライトリハを含む）で800㎡程度の確保を目指す																																													
リハビリテーション部門	理学療法室	1	600	600		①脳血管疾患等リハビリテーションⅠ（併用可）、運動器リハビリテーションⅠ（併用可）、呼吸器リハビリテーションⅠ（併用可）を別々に取得できること（有効面積300㎡） ②室内の柱の位置に工夫するなど、できる限り空間を有効に利用できるような対応を行う。 ③室内に14m程度の歩行訓練ができるスペースを設ける。						○			○	○			○		○	○		○	○	○			○	○	○				高温	○	○						自動・混									単相200V、製氷機用給水・排水、オートロック（カードキー式）、壁補強	別紙参照
	作業療法室（ADLコーナー）	1	含	-		①リハビリ室内にコーナーとして設ける ②システムキッチン・流し台、トイレ・バスタブ（配管なし）を設置できるスペースを確保する ③床上訓練用要スペース（畳敷きで6畳程度）を設ける					○			○				○		○	○		○	○	○			○	○	○	○				○	○						自動・混									単相200V 、三相200V 、システムキッチン	別紙参照
	心臓リハビリ室	1	含	-		①心大血管疾患リハビリテーションⅠを想定する（有効面積40㎡以上）					○			○	○			○		○	○		○	○	○			○	○	○	○				○	○					自動・混										別紙参照
	言語療法室	3	10	30		①脳血管疾患等リハビリテーション科Ⅰの個別療法室の施設基準を確保すること（有効面積8㎡） ②音への配慮をおこなうこと ③2方向の出入り口を設ける ④リハビリ部門が回復期リハ病棟と同フロアの場合は2室で良い。 ⑤うち1室はグースネック水栓ありとする。					○			○				○		○	○		○	○			○	○	○	○				○	○						自動・混										別紙参照
	受付	1	適宜	適宜		①1～2名が受付の執務をできるスペースを確保すること ②リハビリステーション室の中が見渡せるように配置すること		○			○			○	○			○	○	○	○		○	○			○																						
	多目的・カンファレンス室	1	12	12		①6人程度がカンファ・面談等を行う部屋を想定する。					○							○	○	○	○		○	○			○	○	○	○																			
リハビリテーション部門	心理面接室	1	8	8		②4人程度で面談できる部屋を想定する。					○		○	○				○	○	○	○		○	○			○	○	○	○				○	○														別紙参照
	待合	1	20	20		①10名が待機できるスペースを確保すること						○	○							○				○				○																			掲示スペース×1	別紙参照
	スタッフルーム	1	50	50		①25名の執務スペースを確保すること ②リハビリステーション室が見渡せるように配置すること			レバー・混		○							○	○	○				○				○	○	○	○																		オートロック（カードキー式）	別紙参照
	診察室	1	10	10		①2方向の出入り口を設ける							○	○				○	○	○				○				○	○	○	○										自動・混										
	器材庫	1	18	18																○				○																								別紙参照
	多目的トイレ	1	4	4						自動・混				○						○									○	○	○										自動・混										
１５.栄養管理・給食管理部門						①院外型ニュークックチル方式とする。 ②配膳前の再加熱カート室と下膳後のカートエリアを院内に集約させる。 　また、院外からの食品供給や病棟への配膳に利便性の良いエレベーターに近い　位置に配置させる。※配膳用エレベーターは専用の時間帯を設けて併用可。 ③栄養課専用の指導・相談室を1室計画する。但し医事課相談等の部屋を兼用として計画しても良い ④集団栄養指導等は管理部門の会議室を活用する																																													
栄養管理・給食管理部門	食品貯蔵庫	1	30	30		①3日分の食品が保管可能なスペースを確保すること ②日用品用の冷蔵庫を設置すること														○	○		○	○	○			○																					三相200V	冷蔵庫、冷凍庫、検食保存用冷蔵庫

付属資料１　諸元表 【変更版】

※今回、着色した諸室の想定面積、規模については施設要求水準が遵守でき、医療機器、什器・備品を設置した上で、医療行為及び病院運営が支障なく合理的に行える範囲であれば、既定の面積から減少して提案することを可能とします。但し、延べ面積については、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保して下さい。

※取り消し線の諸室は今回計画が不要な諸室としました。

※その他変更箇所は赤文字で表示しています。

必要諸室		全般					建築等				電気設備															機械設備																						備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
		面積															LAN		コンセント				照明器具										医療ガス						衛生器具											
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準（主に諸室位置関係・出入口・動線に関すること）	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	スタッフ用手洗器（グースネック水栓等）	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓		
部門	下膳カート室	1	30	30	※各病棟にて液体の残渣物処理を行うが、当室にもシンクを設置。	①下膳した再加熱カート（10台程度）を留置できるスペースを確保する ②液体の残渣物処理のためのシンクコーナーを設ける			レバー・混											○	○			○	○			○	○	○	○																				
	再加熱カート室	1	40	40		①再加熱カート（10台程度）を留置させるスペースと、院外からの検収作業を行えるスペースを確保する														○	○		○	○	○			○	○	○	○												自動・混								三相200V	再加熱カート
	栄養課事務室	1	30	30		①8人が執務できる部屋とする。（各病棟専任管理栄養士5人＋外来1人、補助スタッフ2人［食事変更・発注業務・検収作業等］）					○	○			○			○	○	○	○				○	○			○	○	○	○											自動・混									
	調理スペース	1	18	18		①再加熱カート室・食品貯蔵庫に隣接し、簡易的な調理台を設ける ②濃厚流動食の保管や冷凍予備食を保管する冷凍冷蔵庫スペースを確保する			レバー・混										○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○											自動・混								キッチンシンク（2槽シンク）、単相200V、三相200V	スチームコンベクションオーブン、IHクッキングヒーター、包丁まな板保管庫、冷凍冷蔵庫保存食（3食14日分）、保管庫用冷凍ストッカー、オーブンレンジ、ミキサー、調理台その他※できれば業務用小食器洗浄機
	トイレ	1	2	2		①調理職員用のトイレを部門内に設ける														○				○					○	○	○										自動・混									
	更衣室	1	2	2		①個室で1室設ける														○								○																					
	栄養指導室（外来内に配置）	-	-	-		（外来部門の項を参照）																						○																					
１６.患者支援部門						①医事課に隣接し、地域連携、医療福祉等相談、病床管理、説明指導、入退院サポート、予約対応を行う																																													
患者支援室	患者支援室	1	50	50	患者支援室は前方連携・後方連携の機能を有する	①医事課執務室に隣接して配置する ②~~16～18人~~12人程度が執務できる部屋を確保する			レバー・混		○	○		○				○	○	○				○			○	○	○	○											自動・混								OAフロア	
	相談ブース	~~3~~ 2	10	~~30~~ 20		①4人程度で相談を行えるカウンターブースを3つ設ける。（医事部門と兼用で利用する個室相談室を別に確保する） ②出入口は2方向に確保する												○	○	○				○			○																						
17.管理部門						①管理エリアは、スタッフのみが通行できるようセキュリティエリアのゾーニングに配慮する ②医事機能は、1階に集約配置とする																																													
医事部門	中央受付	1	適宜	適宜		①新患・再診、文書、計算、精算の受付ブースを設けること （4ブース程度設け、混雑状況に応じて使い分けるようにする） ②再診受付機2台分のスペースを近傍に設ける ③自動精算機2台分のスペースの近接に設けること ④マイナンバーカード確認機2台分のスペースの近接に設けること ⑤会計待ち表示システムの設置を想定すること ⑥カウンター前のスペースは広めに確保すること		○				○		○					○	○	○	○		○	○			○																							再診受付機、自動精算機、保険証発行認証機
	医事課事務室	1	72	72		①~~20人~~16人程度の執務スペースとする（入院、外来、介護関係集約配置） ②給湯コーナーを室内に設ける			レバー・混		○	○						○	○	○	○		○	○			○	○	○	○																			OAフロア 非常押釦表示盤（医事エリア　相談室）	
	書庫	1	10	10		①帳票関係の書庫とする																						○																					
	診療情報管理室	1	15	15		①4人程度の執務スペースとする ②場所は、医事課隣接でなくても構わない ③書類ストックスペースが必要（1年程度の書類ストック（A4書類36箱分）））					○							○	○	○	○		○	○			○	○	○	○											自動・混								カードリーダー	
	相談室（医療相談・苦情相談・カルテ開示）	3	12	36		①4人程度で相談を行える（内1室は6人程度）相談室を設ける。 ②出入口は2方向に確保する												○	○	○				○			○																						
事務部門	院長室	1	18	18		①事務机、キャビネット、応接セットを想定する				自動・混	○	○						○	○	○	○			○	○			○	○	○	○																	カードリーダー	
	管理者室	1	18	18		①事務机、キャビネット、応接セットを想定する				自動・混	○	○						○	○	○	○			○	○			○	○	○	○																	カードリーダー	
	~~副院長室~~	~~1~~	~~18~~	~~18~~		~~①事務机、キャビネット、応接セットを想定する~~				~~自動・混~~	~~○~~	~~○~~						~~○~~	~~○~~	~~○~~	~~○~~			~~○~~	~~○~~			~~○~~	~~○~~	~~○~~	~~○~~																	~~カードリーダー~~	

付属資料１　諸元表 【変更版】

※今回、着色した諸室の想定面積、規模については施設要求水準が遵守でき、医療機器、什器・備品を設置した上で、医療行為及び病院運営が支障なく合理的に行える範囲であれば、既定の面積から減少して提案することを可能とします。但し、延べ面積については、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保して下さい。

※取り消し線の諸室は今回計画が不要な諸室としました。

※その他変更箇所は赤文字で表示しています。

必要諸室		全般					建築等				電気設備														機械設備																							備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
		面積															LAN		コンセント				照明器具									医療ガス							衛生器具										
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準（主に諸室位置関係・出入口・動線に関すること）	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	洗器（グース ネック水栓等）	スタッフ用手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓		
	看護部長室	1	25	25		①4人分の事務机、キャビネット、応接セット、更衣スペース（パーテーションにてブース化）を想定する					○	○						○	○	○	○			○	○			○	○	○	○											自動・混									カードリーダー	パーテション
	感染管理室	1	12	12		①2人程度の執務スペースとする				自動・混	○	○						○	○	○	○			○	○			○	○	○	○																			カードリーダー	
	医療安全管理室	1	12	12		①2人程度の執務スペースとする				自動・混	○	○						○	○	○	○			○	○			○	○	○	○																			カードリーダー	
	認定看護師室	1	15	15		①6人程度の執務スペースとする（皮膚排泄、がん化学療法、糖尿病、透析、摂食、認知、乳がん、特定行為看護師等）				自動・混	○	○						○	○	○	○			○	○			○	○	○	○																			カードリーダー	
	医局	1	120	120		①ラウンジ、医局事務を含む ②オープンスペース:25～30名分程度の医師デスクを設ける ③電子カルテ閲覧スペース：4人程度のデスクを設ける ④給湯エリアを設ける			レバー・混		○	○						○	○	○	○			○	○			○	○	○	○																			カードリーダー OAフロア	
	カンファレンス室	1	12	12		①10人程度収容できる部屋とする												○	○	○	○			○				○																							
	医局更衣室（男女）	2	20	40		①男性28人、女性16人程度のロッカーを設ける（4人用ロッカー）														○				○				○																							
	ミーティングエリア	1	適宜	適宜		①MRとの面談用スペースを設ける（医局付近の廊下に面して配置）												○	○	○	○			○	○			○																							
	事務室	1	90＋30	90＋30	30㎡（その他（設備関連）の「中央監視室」機能の面積）	①25人程度収容できる事務室を設ける ②室内にミーティングブース2か所程度を設ける ③給湯エリアを設ける ④受付カウンターを置くスペースと、ミーティングスペースに配慮する。 ⑤電話交換手が対応するスペースを確保する。 ⑥書庫、金庫設置スペースを確保する。 ⑦後述の中央監視室機能を設ける		○			○	○						○	○	○	○			○	○			○	○	○	○													自動・混									カードリーダー OAフロア 高速衛星通信設備用配管	
	相談室（主に事務用）	~~2~~ 1	10	~~20~~ 10		①人事、業者その他面談用の（主に）事務局用の個室を設ける ②4人程度で面談できる部屋を想定する。												○	○	○				○				○																							
	会議室（40人収容）	1	70	70		①スクリーン、映像、音響設備を設けること。 ②20人収容の会議室との間で移動間仕切りを設置し、1室として利用を可能とすること ③各会議室はできるだけ隣接して配置すること ④外部一般者も入室可能なもの（セキュリティー・入室動線管理にも配慮）						○	○						○	○	○	○			○	○			○	○	○	○											自動・混									電動ロールスクリーン、音響機器	
	会議室（20人収容）	2	40	80		①スクリーン、映像、音響設備を設けること。 ②40人収容の会議室との間で移動間仕切りを設置し、1室として利用を可能とすること ③各会議室はできるだけ隣接して配置すること ④外部一般者も入室可能なもの（セキュリティー・入室動線管理にも配慮）						○	○						○	○	○	○			○	○			○	○	○	○											自動・混									電動ロールスクリーン、音響機器（1室のみ）	
	会議室（10人収容）	~~3~~ 2	20	~~60~~ 40		①各会議室はできるだけ隣接して配置すること						○	○						○	○	○	○			○	○			○	○	○	○											自動・混										
	~~会議室（5人収容）~~	~~3~~	~~10~~	~~30~~		~~①各会議室はできるだけ隣接して配置すること~~						~~○~~	~~○~~						~~○~~	~~○~~	~~○~~	~~○~~			~~○~~	~~○~~			~~○~~	~~○~~	~~○~~	~~○~~											~~自動・混~~										
	職員食堂	1	60	60		①会議室（20人収容）と移動間仕切りで隣接させ、合わせて最大100人程度収容できる職員ラウンジを設ける（合計で140㎡程度）						○	○						○	○	○				○				○	○	○	○											自動・混										
	~~応接室~~	~~1~~	~~40~~	~~40~~	~~幹部会議［理事会］が開催できるスペース~~	~~①管理職の部屋の付近に配置する~~						~~○~~	~~○~~						~~○~~	~~○~~	~~○~~				~~○~~				~~○~~																						~~円卓テーブル、椅子~~
事務部門	職員更衣室（男）	1	28	28	洗面	①80人程度のロッカーが設置できるスペースを確保すること（4人用ロッカー想定） ②洗面コーナーを設けること ③白衣室に近接させること				自動・混	○									○				○	○			○	○	○	○																				シャワーユニット	
	職員更衣室（女）	1	84	84	洗面	①280人程度のロッカーが設置できるスペースを確保すること（4人用ロッカー想定） ②パウダーコーナーを設けること ③白衣室に近接させること				自動・混	○									○				○	○			○	○	○	○																				シャワーユニット	
	白衣室	1	30	30		①更衣室に近接すること														○				○				○																					セキュリティーロックを備える。（カードキー方式）	

付属資料１　諸元表 【変更版】

※今回、着色した諸室の想定面積、規模については施設要求水準が遵守でき、医療機器、什器・備品を設置した上で、医療行為及び病院運営が支障なく合理的に行える範囲であれば、既定の面積から減少して提案することを可能とします。但し、延べ面積については、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保して下さい。

※取り消し線の諸室は今回計画が不要な諸室としました。

※その他変更箇所は赤文字で表示しています。

必要諸室		全般					建築等				電気設備														機械設備																						備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
		面積															LAN		コンセント				照明器具									医療ガス							衛生器具									
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準（主に諸室位置関係・出入口・動線に関すること）	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	洗面器／手洗器	洗器（グース ネック水栓 等）	スタッフ用手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓		
	不潔リネン庫（ユニフォーム用）	1	~~10~~ 6	~~10~~ 6		①更衣室に近接すること														○				○																									セキュリティーロックを備える。（カードキー方式）	
	職員用トイレ	2	15	30		①管理エリア内に必要数配置する ②その他、管理エリア外の院内各所に、1フロア4つ程度職員用トイレを設ける。														○				○	○				○	○	○																			洗面化粧カウンター	
	職員用多目的トイレ	1	4	4		①管理エリア内に必要数配置する														○				○	○				○	○	○											自動・混									
	当直室	6	10	60		①室内に洗面器を設ける ②管理エリア内に配置する					○	○						○	○	○				○	○			○	○	○	○											自動・混									
	当直用シャワー室（US・脱衣室）	2	6	12		①当直室に近接して配置する																		○																									シャワーユニット	
	印刷コーナー	1	4	4		①管理エリア内に配置する												○	○	○	○			○				○																						
	書庫	1	~~30~~ 20	~~30~~ 20		①管理エリア内に配置する（印刷物の書庫とする）														○				○				○																					移動書棚（床下地補強、アンカー打ち）	移動書棚
	給湯コーナー	1	4	4		①管理エリア内に配置する			レバー・混											○				○				○	○	○	○																			
	ボランティア室	1	~~15~~ 10	~~15~~ 10		①2階設置とする。			レバー・混		○	○						○	○	○				○				○	○	○	○																			
	清掃控室	1	20	20		①廃棄物庫付近に配置する ②11人～15人程度収容、男女休憩スペースと更衣スペースを確保する。			レバー・混		○	○						○	○	○				○				○	○	○	○																			
	清掃用具室	1	20	20		①清掃控室付近に配置する ※別途、外部に洗濯機装置、天日干しスペースを設ける。			レバー・混									○	○	○			○	○				○	○	○	○			高温											○						三相200V 特殊排水（高温対応配管）とする	熱水洗濯機、乾燥機
	守衛室	1	20	20		①時間外外来付近に配置する ②守衛室には副装置を設置する。（中央監視主装置は管理門事務室に設置する。）		○	レバー・混		○	○							○	○	○			○				○	○	○	○																			OAフロア	
	守衛仮眠室	1	8	8		①警備員室に隣接して設ける					○	○						○	○	○	○			○				○																						
	時間外受付	1	含	-		（救急部門の項参照）																						○																						
	事務当直室	1	8	8		①時間外受付に隣接して設ける					○	○							○	○	○			○				○																						
医師支援・教育研修部門	医師支援室	1	20	20		①医局に隣接して設ける ②8人程度収容できる部屋とする			レバー・混		○							○	○	○				○				○	○	○	○																					
	多目的室（兼実習生控室）	1	~~40~~ 30	~~40~~ 30		①管理エリア内に15人程度収容可能な部屋を設ける ②移動間仕切りで、~~4グループ程度（各5人）収容できるスペース~~2室にわけられること。			レバー・混									○	○	○				○				○	○	○	○																					
	研修生用更衣室	2	10	20		①男女別各20人のロッカーを配置する														○				○				○																						
	情報閲覧室	1	20	20		①管理エリア内に設ける												○	○	○				○				○																						
事務部門（医療情報関連）	サーバー室	1	36	36		①院内全てのサーバーを集約配置できるスペースに加え、システム更新時の予備スペースを確保すること ②サーバーラック10本　床置き型送風機を設置 ③発熱量に対し十分な空調・換気設備、サーバーに配慮した消火設備仕様とする ④出入口扉はサーバーラックの出入りを想定する					○							○	○	○	○			○	○			○																							電源盤、OAフロア、床置き空調機 セキュリティーロックの設置（入口に入退室管理記録が残るセキュリティーロック）（カードキー方式）	サーバーラック、UPS
	予備 サーバー室	1	含	-		①上記サーバー室のシステム更新時の予備スペースとする （システム更新を踏まえた、配管、電力設備等を見越す。） ②システム更新までは、会議室として利用する。 ★上記、会議室（~~5人収容もしくは~~10人収容）と兼用とする												○	○	○	○			○	○			○																							電源盤、OAフロア、床置き空調機	サーバーラック、UPS
	情報システム室	1	10	10		①サーバ室に近接し、2人程度が執務できるスペースを確保する					○	○						○	○	○	○			○	○			○	○	○	○											自動・混									
事務部門（物品・リネン関連）	SPD室	1	40	40		①事務管理エリアに配置し、院外からの供給動線に適した場所にする			レバー・混		○	○						○	○	○	○			○	○			○	○	○	○																					
	CSセット保管室	1	~~20~~ 15	~~20~~ 15																○				○				○																						

付属資料１　諸元表 【変更版】

※今回、着色した諸室の想定面積、規模については施設要求水準が遵守でき、医療機器、什器・備品を設置した上で、医療行為及び病院運営が支障なく合理的に行える範囲であれば、既定の面積から減少して提案することを可能とします。但し、延べ面積については、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保して下さい。

※取り消し線の諸室は今回計画が不要な諸室としました。

※その他変更箇所は赤文字で表示しています。

必要諸室		面積			全般		建築等				電気設備															機械設備																					備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
																		LAN		コンセント				照明器具									医療ガス						衛生器具										
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準（主に諸室位置関係・出入口・動線に関すること）	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	：電子カルテ用無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	スタッフ用手洗器（グースネック水栓等）	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓		
運）	災害備蓄庫	1	30	30		①災害時などの物品取り出しの容易性に配慮し下層階に配置する ②最低3日間以上の備蓄スペースとする（食料、飲料、医薬品、医療材料等）					○									○	○			○	○			○																								
	清潔リネン庫	1	25	25		①院外からの清潔リネンの一時保管場所として配置する ②院外からの搬出入口に近い場所に配置する ③施錠が必要					○									○	○			○	○			○																						セキュリティーロックを備える。（カードキー方式） （カードキー方式）	
事務部門（物品・リネン関連）	不潔リネン庫	1	15	15		①院外への不潔リネンの一時保管場所として配置する ②搬出入口に近い場所に配置する ③施錠が必要					○									○	○			○	○			○																						セキュリティーロックを備える。（カードキー方式）	
	洗濯室	1	40	40		①院内洗濯のための部屋として、大型業務用洗濯機1台、乾燥機2台、感染対策用洗濯機1台、シンク、作業台を配置する ②洗い上がりリネン仮設スペースを設ける														○			○	○			○				○		○		高温															三相200V 特殊排水（高温対応配管）とする	大型洗濯機、大型乾燥機
事務部門（廃棄物）	廃棄物庫	1	60	60	廃棄物庫（生ゴミ）	①野外から搬入・搬出できるものとする。 ②施錠管理できるものとする。 ③水洗が可能な仕様とする。 ④別棟としての計画も可とする。但し、病院棟から雨に濡れずに行き来できるように庇等を計画すること。（※なお別棟とした場合でも、病院棟の延べ面積は、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保すること。）																			○							○		○															○		
					廃棄物庫（不燃物）	①野外から搬入・搬出できるものとする。 ②施錠管理できるものとする。 ③別棟としての計画も可とする。但し、病院棟から雨に濡れずに行き来できるように庇等を計画すること。（※なお別棟とした場合でも、病院棟の延べ面積は、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保すること。）																			○																									
					廃棄物庫（再生）	①野外から搬入・搬出できるものとする。 ②施錠管理できるものとする。 ③別棟としての計画も可とする。但し、病院棟から雨に濡れずに行き来できるように庇等を計画すること。（※なお別棟とした場合でも、病院棟の延べ面積は、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保すること。）																			○																									
					廃棄物庫（オムツ廃棄）	①野外から搬入・搬出できるものとする。 ②施錠管理できるものとする。 ③別棟としての計画も可とする。但し、病院棟から雨に濡れずに行き来できるように庇等を計画すること。（※なお別棟とした場合でも、病院棟の延べ面積は、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保すること。）																			○																									
					廃棄物庫（産業廃棄物）	①野外から搬入・搬出できるものとする。 ②施錠管理できるものとする。 ③別棟としての計画も可とする。但し、病院棟から雨に濡れずに行き来できるように庇等を計画すること。（※なお別棟とした場合でも、病院棟の延べ面積は、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保すること。）																			○																									
					廃棄物庫（機密）	①野外から搬入・搬出できるものとする。 ②施錠管理できるものとする。 ③別棟としての計画も可とする。但し、病院棟から雨に濡れずに行き来できるように庇等を計画すること。（※なお別棟とした場合でも、病院棟の延べ面積は、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保すること。）																			○																									
					廃棄物庫（感染性）	①野外から搬入・搬出できるものとする。 ②施錠管理できるものとする。 ③別棟としての計画も可とする。但し、病院棟から雨に濡れずに行き来できるように庇等を計画すること。（※なお別棟とした場合でも、病院棟の延べ面積は、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保すること。）																			○																									
事務部門（患者サービス関連）	売店スペース	1	130	130	バックヤード込みの面積。	①外来・病棟からのアクセスがしやすい場所に配置する					○								○	○	○	○		○	○			○	○	○	○												自動・混								給排水衛生工事、電源・照明・空調工事、子メーター、その他法規上設置が必要な設備、及びそれにともなうスリーブの設置	冷蔵庫、冷凍庫

付属資料１　諸元表 【変更版】

※今回、着色した諸室の想定面積、規模については施設要求水準が遵守でき、医療機器、什器・備品を設置した上で、医療行為及び病院運営が支障なく合理的に行える範囲であれば、既定の面積から減少して提案することを可能とします。但し、延べ面積については、ピロティ及び駐車場を除き、14,850㎡以上を確保して下さい。

※取り消し線の諸室は今回計画が不要な諸室としました。

※その他変更箇所は赤文字で表示しています。

必要諸室		全般					建築等				電気設備															機械設備																						備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
		面積															LAN		コンセント				照明器具											医療ガス							衛生器具									
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準（主に諸室位置関係・出入口・動線に関すること）	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	：電子カルテ用無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	洗器（ダブルレバー、スタッフ用手洗器等）	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓		
	自動販売機スペース	適宜	適宜	適宜		①周辺にゴミ箱等ゴミ回収スペースを確保														○									○		○																			＊電子決裁（マルチリーダー機能）は、無線の携帯回線で接続可能。電波が不安定の場合、有線接続等となる。	
	イートインコーナー	1	適宜	適宜		①患者の休憩ゾーンとして整備する ②売店のイートインコーナーとすること			レバー・混		○	○							○	○				○	○			○	○	○	○																				
	~~患者情報・図書コーナー~~	~~1~~	~~20~~	~~20~~		~~①患者がパンフレットなどを閲覧できるスペースを確保~~ ~~②外来エリアの付近で落ち着いた場所に確保する~~													~~○~~	~~○~~				~~○~~				~~○~~																								
その他施設	院外薬局	1	127	127		①病院内との行き来ができないようにし、病院建物外から入室できるようにする ②建物１階東側に配置し、厚生局の許認可を得る条件の一つである「薬局の存在や出入口を公道から容易に確認できる」位置とすること			レバー・混										○	○	○			○	○			○	○	○	○													自動・混									
	霊安室	1	12	12	※将来解剖室に用途変更可とする	①遺体冷蔵庫は設置せず、備品による祭壇を設ける ②ご遺体1体を安置できるスペースとする ③将来解剖室に用途変更が可能な設えとする					○				○					○				○				○																						将来解剖室に転用可能なように部分的に床下げ対応を行う。	
	霊安前室	1	9	9		①霊安室と隣接するとともに、外部へのご遺体出口に隣接する														○				○				○																							
	車椅子収納エリア 正面玄関	1	6	6		①10台程度の車椅子を配置できるようにする ②正面玄関付近に配置する														○				○																										車椅子止め	
その他	倉庫	適宜	適宜	適宜		①部門内に適宜スペースを設ける																																													
その他（設備関連）						①浸水等災害時にも稼働することを念頭に置き、部屋の配置を検討する																																														
設備関連	機械室	適宜	適宜	適宜		①諸元は右表によらず、設置する機械に必要な備えを設けること ②院内必要箇所に無停電電源を供給するためのUPS室を設ける。					○									○	○			○	○			○	○		○												自動・混			○						
	中央監視室	-	-	-	管理部門事務室の面積（90＋30）に含む	①管理部門事務室に同機能を配置する。 ②中央監視主装置を設置する。			レバー・混		○	○							○	○	○			○	○			○	○	○	○																			全設備の警報盤（消防設備、電気設備、給排水設備、空調設備、ガス設備、給湯設備、医療ガス設備、エレベーター、各出入口のインターホン、防犯設備）を集約させる。 OAフロア	
	液酸タンク、医療ガスボンベ庫（マニフォールド庫）	-	-	-		①敷地内に確保する																																													